

「ルールが分かれば誰でもできる！あなたの数学の偏差値を70にするプリント」の詳細は以下をクリック！

<http://www.hmg-gen.com/tuusin.html>

---

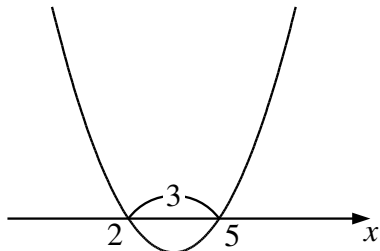
## 2次関数No. 4

「2次関数のグラフがx軸から切り取る線分の長さに関する問題」

今日は2次関数の第4回、「2次関数のグラフがx軸から切り取る線分の長さに関する問題」です。

「2次関数のグラフがx軸から切り取る線分の長さ」って言われてもよく分からない人もいると思います。

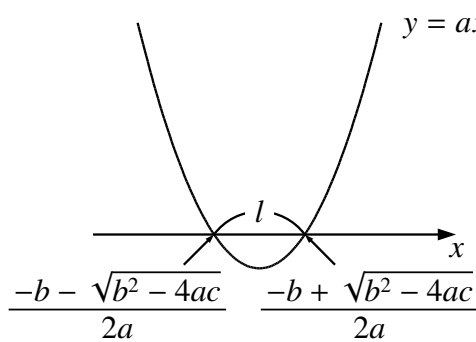
例えば  $y = (x - 2)(x - 5)$  という2次関数がx軸から切り取る線分の長さは、下図のように3となります。



「2次関数のグラフがx軸から切り取る線分の長さに関する問題」はどう解くかと言うと、単純に解の公式でx軸と2次関数のグラフの交点を出してもらって、解の大きい方から小さい方を引くだけです。

計算的に少し面倒かもしれませんが、互いに打ち消しあってくれるのでそれほど難しくありません。ワンパターンで解けるので、よく覚えておいてください。

-----2次関数のグラフがx軸から切り取る線分の長さ-----



2次関数のグラフがx軸から切り取る線分の長さ $l$ は、上図のようになるので

$$l = \frac{-b + \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} - \frac{-b - \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

↑ 数直線上における線分の長さは大きい方から小さい方を引けば求められる

$$= \frac{2\sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

$$= \frac{\sqrt{b^2 - 4ac}}{a}$$

このことを踏まえて次の問題を解いてください。

#### 問題

2次関数  $y = x^2 - 12x + a$  のグラフがx軸から切り取りとる線分の長さが8である。  
このとき定数  $a$  の値を求めよ。

#### 【解答】

\*この問題は、これまで説明してきたことを考えれば簡単だと思うので、いきなり解答に進みます。

$x^2 - 12x + a = 0$  の2解を  $\alpha, \beta$  ただし  $\alpha < \beta$  とする。

解の公式より  $\alpha = 6 - \sqrt{36 - a}$ ,  $\beta = 6 + \sqrt{36 - a}$

2次関数  $y = x^2 - 12x + a$  のグラフがx軸から切り取る線分の長さを  $l$  とする。

$$\begin{aligned}
 l &= \beta - \alpha \\
 &= 6 + \sqrt{36 - a} - \{6 - \sqrt{36 - a}\} \\
 &= 2\sqrt{36 - a}
 \end{aligned}$$

$$l = 8 \text{ より}$$

$$\begin{aligned}
 2\sqrt{36 - a} &= 8 \\
 \sqrt{36 - a} &= 4 \\
 36 - a &= 16 \quad \leftarrow \text{両辺 2 乗した (注)} \\
 -a &= -20 \\
 a &= 20 \quad \leftarrow \text{これが答え}
 \end{aligned}$$

### 【注】

上記で何気なく 2 乗したけど、2 乗する時は必ず同値性に注意しないとイケません。次の方程式を解いてみてください。

#### 問題

$$\sqrt{6 - x} = x \text{ を解け。}$$

#### 有名な誤答例

$$\begin{aligned}
 \sqrt{6 - x} &= x \\
 6 - x &= x^2 \quad \leftarrow \text{両辺を 2 乗した} \\
 x^2 + x - 6 &= 0 \\
 (x - 2)(x + 3) &= 0 \\
 x &= 2, -3
 \end{aligned}$$

上記は、どこが間違っているか分かる？

実は、両辺を 2 乗したところ  $\sqrt{6 - x} = x \Leftrightarrow 6 - x = x^2$  のところが間違っているんだ。

$\Leftrightarrow$  っていうのは  $\Leftarrow$  と  $\Rightarrow$  の両方が成立して初めて成り立つんだけど、

$\sqrt{6-x} = x \Rightarrow 6-x = x^2$  は成立するけど、 $\sqrt{6-x} = x \Leftarrow 6-x = x^2$  は成立しないよ。

$6-x = x^2$  を解くと、 $\pm\sqrt{6-x} = x$  だよな？ $+\sqrt{6-x}$  だけならいいけど、余分な $-\sqrt{6-x}$ が入ってくるのでこのときは成立しない。

マイナスが入ってきたらダメなんだから、マイナスを除けば同値性が保たれるよね？だから、 $\sqrt{6-x} = x \Leftrightarrow 6-x = x^2$  かつ  $x \geq 0$  となります。

では、解答に進みます。

### 【解答】

$$\sqrt{6-x} = x$$

$\Leftrightarrow 6-x = x^2$  かつ  $x \geq 0$  (注)  $6-x = x^2$  を  $x$  について解くと  $\pm\sqrt{6-x} = x$  だが  $x \geq 0$  も同時に満たすには  $x = -\sqrt{6-x}$  は不適となり  $x = \sqrt{6-x}$  となり同値性をみだす

$$x^2 + x - 6 = 0, \text{ かつ } x \geq 0$$

$$(x-2)(x+3) = 0, \text{ かつ } x \geq 0$$

$$x = 2, -3 \text{ かつ } x \geq 0$$

$$x = 2 \blacktriangleleft x = -3 \text{ は } x \geq 0 \text{ より不適}$$

方程式や不等式を解くとき、何気なく解いている人が多いと思うけど、常に同値変形に気を使いながら解かないといけません。同値変形とは  $\Leftrightarrow$  が成立していることです。

でも、常に同値性に注意しながら解いていたら時間がかかって仕方がないです。普通に計算していても、同値性はほとんどの場合保たれます。同値性が保たれないパターンもいくつかありますが、2乗する時が一番有名なパターンと言ってもよいと思います。2乗するときは、同値性が保たれているか特にしっかりと考えるようにしてください。

### 有名な同値変形

$$A = \sqrt{B}$$

$$\Leftrightarrow A^2 = B \text{ かつ } A \geq 0$$

今回はこれで終了です。「2次関数のグラフが  $x$  軸から切り取る線分の長さ」センター試験でもたまに出題されますが、日本語の意味さえ分からないという人が多いので、わざ

わざとプリントを作りました。知っている人にとっては、ごくごく簡単な内容だったと思います。

最後の方で、少し同値性の話をしました。高校数学において本当に基礎的な事柄ですが、理解できていない人が意外なほど多いです。学校の教科書なんかでも同値変形の単元ってないですよ。でも、本当に重要です。今後機会を見て、他の同値変形も紹介していきたいと思います。がんばってください。

---

数学って難しいですよ。でも、数学って「このときはこうする」というルールがあってそれをひとつずつ覚えていけば誰でもできるようになります。

「今までの苦労はなんだったの？」と思えるほど、簡単にできるようになりますよ。

「4浪しているのにセンター6割」→「入会8か月後に島根大学医学部医学科に合格!」

本人いわく「悲惨な成績」で限りなく学年で下位 → 「ぐんぐん成績をあげて筑波大学理工学群現役合格!」

「問題が少し難しくなるととたんに解けなくなる」→「解き方のルールを覚えて難問も解けるようになり東北大学歯学部合格!」

多くの受験生が数学の成績をあげた秘訣を紹介します。

以下の無料メルマガの登録をしてください。無料ですし、いつでも解除できるので登録しないと損ですよ。以下の枠をクリックしてください。

**ルールが分かれば誰でもできる！  
あなたの数学の偏差値を70にするメルマガ**

ラインでも配信しています。ラインの方は以下よりお願いします。

ラインで登録する！

ツイッターやっています。

<https://twitter.com/hmggen>

高校数学の勉強法

<http://www.hmg-gen.com/>

医学部数学の勉強法

<https://www.ouen-math.com/>

感想はこちらまでメールをください（何か言ってもらえると嬉しいです）

[magdai@hmg-gen.com](mailto:magdai@hmg-gen.com)

河見賢司